

20
コマ

特殊商品売買は、特殊な商品を 売買することじゃないんです①

いつ『売上』として認識するか？

モノを売るのも楽じゃありません。

売り方にも色々工夫が必要です。

売り方を工夫しているうちに、ちょっと変わった売り方、
買い方が生まれました。それが^{とくしゅしょうひんばいばい}特殊商品売買です。

特殊な商品を売って
ワケじゃないんだネ…



アレは必要ない
でチュね

2級で勉強する、ちょっと変わった商品売買の形態には
いくつかあります。

予約販売… ²⁰ コマ	委託販売… ²¹ コマ	試用販売… ²² コマ
未着品売買… ²⁰ コマ	受託販売… ²¹ コマ	割賦販売… ²² コマ

勉強していくうえでは、1つの原則に着目して考えてみてください。

どのタイミングで『売上』の仕訳をするか、です。

以下の2つの条件を満たしたときに売り上げたと考えます。

①商品を手渡す

②現金 or 現金のようなもの(売掛金など)を受け取る

これが原則です。

それぞれ見ていきましょう。



ちょっと変わった形態の売り
方をしていると、どのタイミ
ングで『売上』とすればいい
のが分からなくなってくるこ
とがあるんです

其の一 よやくはんばい 予約販売

① 熱心なお客さんができて、予約してくれた。

うちにもコアなファンができたもんだネ…

真面目に商売することだよ



京都は丹波産の栗を予約させてください…

9月から12月までの分を…



現金	12,000	前受金	12,000
(資産)		(負債)	

(資産)⊕	(負債)⊖
	(純資産)
(費用)	(収益)

栗が好きで仕方がないお客さんから、9月～12月分の4ヵ月にわたって食べる予定の栗の代金を受け取りました。ただ、まだ商品は渡していないので『売上』とはせず、『前受金』(負債)としておきます。

② まずは9月分の栗を引き渡す。



はいコレ



前受金	3,000	売上	3,000
(負債)		(収益)	

(資産)	(負債)⊖
	(純資産)
(費用)	(収益)⊕

栗を渡した9月分については、

①商品を渡して②現金を受け取りました。

ここで初めて『売上』を計上します。これが予約販売です。



其二
み ちやくひんばいばい
未着品売買

① 商品自体は、^{いま}未だ到着せずも…

カピバラ商会に
注文したなす
届くの遅いネ…



貨物代表証券で～す

ひらり



イライラ

ん？

② か もつだいひょうしょうけん
貨物代表証券だけ先に届いた。



か、貨物代表証券？

つまなにそれ？



未 着 品	3,000	買 掛 金	3,000
(資 産)		(負 債)	

(資産)⊕	(負債)⊖
(純資産)	
(費用)	(収益)

貨物代表証券とは、運送業者が発行する商品の引換券です。

これだけ先に届いたときは、『未^み着^{ちやく}品』(資産)としておきます。

これをあとで運送業者の人に渡して、商品と引き換えます。

2級で登場する貨物代表証券には2種類あります。



か もつひきかえしやう
貨物引換証 … 陸上運送の場合



ふな に しやうけん
船荷証券 … 海上運送の場合



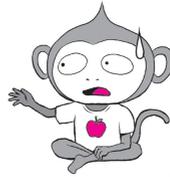
3

貨物代表証券のまま売る。

なす売ったる



はいコレ



え、なすは…?



売掛金	3,600	未着品売上	3,600
(資産)		(収益)	

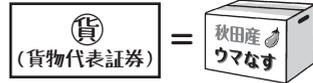
(資産)⊕	(負債)
	(純資産)
(費用)	(収益)⊕



仕入	3,000	未着品	3,000
(費用)		(資産)	

(資産)⊖	(負債)
	(純資産)
(費用)⊕	(収益)

貨物代表証券は商品の引換券なので、
それ自体を商品そのもののように
売ることができます。



使う勘定科目は『^{み ちやく ひん うり あげ}未着品売上』とします。

また、貨物代表証券は『未着品』として(資産)に計上していましたが、
貨物代表証券のまま売り上げたら

『未着品』(資産)から『仕入』に振り替えます。

売上原価になるからです。



ほっ 届いた



もし②のあとに、普通に荷物が届いた場合



仕入	3,000	未着品	3,000
(費用)		(資産)	

届いたので、『未着品』を当期の『仕入』とします。

(資産)⊖	(負債)
	(純資産)
(費用)⊕	(収益)

その都度法と期末一括法

『仕入』の金額は、決算で“シークリ・クリシー”をして
当期仕入高から売上原価に調整されます。

これは、通常の商品売買(一般商品売買)の話です。

未着品売買では、貨物代表証券のまま

売り上げた分は『未着品』→『仕入』に振り替えて、

期中にすでに売上原価を『仕入』にしています(③の2つめの仕訳)。

この方法を「**その都度法**」といいます。

未着品を**売り上げる都度**、**その仕訳**をしているからです。

これに対し、売り上げるたびに毎回その仕訳するのは面倒なので

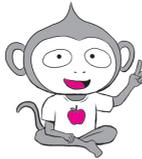
決算整理でまとめてこの仕訳を行う方法もあります。

これを「**期末一括法**」といいます。

売 掛 金 3,600 / 未着品売上 3,600

(資産)⊕	(負債)
	(純資産)
(費用)	(収益)⊕

③の1つめの仕訳は
必ず売り上げた
タイミングでしますが...



仕 入 3,000 / 未 着 品 3,000

(資産)⊖	(負債)
	(純資産)
(費用)⊕	(収益)

2つめの仕訳のタイミングは
「その都度法」と
「期末一括法」があるんだね



チキチキ勘定科目

貨物代表証券が先に届いたときには「未着品」

(資産)	(負債)
	(純資産)
(費用)	(収益)

貨物代表証券のまま売り上げたときには「未着品売上」or「売上」

設例 20-I 過去問題 第135回 第1問 1より改題

取引 音羽株式会社がかねて予約を受け付けていた妖怪図鑑全集（1セット3巻）のうち、第1巻が完成し、本日予約者全員にこれらを発送した。全集の各巻の販売価格はすべて¥1,000であり、発売数は100セットである。全集は売出し時に完売し、予約にさいしては全集3巻1セットにつき代金の全額 ¥3,000 を受け取っている。



¥1,000 × 1巻 × 100セット = ¥100,000

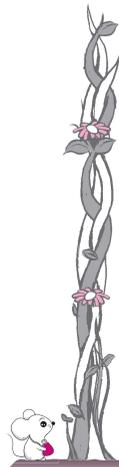
前 受 金	100,000	売		上	100,000
(負 債)		(収 益)			

(資産)	(負債)	「前受金」⊖
	(純資産)	
(費用)	(収益)	「売上」⊕

予約を受け付けたときの仕訳は、

現 金 300,000 / 前 受 金 300,000

となります。100セット分の予約なので、
 $¥1,000 \times 3 \text{巻} \times 100 \text{セット} = ¥300,000$ です。
 そのうち、1巻について商品を引き渡しました。
 この時点で、①商品を渡す②現金を受取る、という『売上』を計上する2つの条件を満たしたことになります。
 そこで、 $(¥1,000 \times 1 \text{巻} \times 100 \text{セット} = ¥100,000)$ の売上を計上します。



設例 20-2 過去問題 第132回 第1問 2より改題

次の取引について仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

売掛金 未着品 未着品売上 仕入

取引] かねて福岡商店から購入していた船荷証券 ¥ 580,000 を名古屋商店へ ¥ 750,000 で売り渡し、代金は掛けとした。なお、これにともなう売上原価は仕入勘定へ振り替える。

売掛金	750,000	未着品売上	750,000
(資産)		(収益)	
仕入	580,000	未着品	580,000
(費用)		(資産)	



船荷証券は、貨物代表証券のうちの1つです。

これを受け取った時点で

未着品 580,000/現金 580,000 という仕訳をしていました。

また、問題文に「これにともなう売上原価は仕入勘定へ振り替える」とあるので、「その都度法」であることがわかります。

そこで売上原価を『未着品』から『仕入』へ振り替えます。

設例 ⑳-3 過去問題 第132回 第1問 2より改題

次の取引について仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

受取手形 未着品 売 上 仕 入

取引 かねて福岡商店から購入していた船荷証券 ¥ 580,000 を名古屋商店へ ¥ 750,000 で売り渡し、代金は当店を受取人とする自己受為替手形を振り出し、同店の引受けを得た。なお、売上原価は決算において仕入勘定へ振り替える。

受取手形	750,000	売	上	750,000
(資 産)		(収 益)		
仕 訳 な し				
()		()		

この設例では問題文に

「受取手形」⊕

「売上原価は決算において

仕入勘定へ振り替える」とあるので

「期末一括法」です。期中には売上原価を

『仕入』に振り替える仕訳は行いません。

(資 産)	(負 債)
	(純資産)
(費 用)	(収 益)
	「売 上」⊕

まとめ

20分 授業で
おさえる内容

- ・『売上』を計上するタイミングは、
①商品を手渡す & ②現金 or 売掛金を受け取る
という2つの条件がそろったときが原則。
- ・先に代金だけ受け取る販売形態が、予約販売。
- ・到着する前の商品を、貨物代表証券のまま売る販売形態が未着品売買。
- ・未着品売買の売上原価を計上する方法には「その都度法」と「期末一括法」がある。